

平成29年度 江戸糸あやつり人形結城座 人形遣い体験入門研修事業

江戸糸あやつり人形遣い 入門塾

応募要項



東京都無形文化財 国記録選択無形民俗文化財
江戸糸あやつり人形 結城座

〒184-0015 東京都小金井市貫井北町 3-18-2
TEL042-322-9750 FAX042-322-3976
E-mail: info@youkiza.jp

◎人形遣い入門塾 開講にあたって

日本には数多くの、長い歴史を越えて今なお生き続けている文化がたくさんあります。しかし残念な事に、毎年のように、日本人の知恵の詰まった小さなキラリと光る技の固まりが消えて行きます。私達は今だからこそ、目を凝らしてそして心穏やかに、それらの一つ一つと対峙してみる時間を持つべきではないでしょうか。長い日本の歴史を理解することは難しくとも、私達日本人のこだわりのひとかけらを共有することは出来ます。

我々は長い経験の中で、糸あやつり人形こそ、皆さんに多くの事をお伝えする最も適した題材であると知りました。人形の作り方、考え方、こだわり方、表現の仕方などです。糸あやつり人形というものの基本は、手板と呼ばれる操作板と人形の間約 16 本位の糸が付いており（役柄によって本数は違います）、手板を平らに持って、糸を上引き上げるか下に引っ張るかだけなのです。その作業が人形の動きと連動するまで、何故か 10 年近くかかってしまいます。人形とはなんとも不思議なものです。

入門塾の期間とは、私達と塾生とが共に、ああでもないこうでもない、と、より無駄のない方法を見つけるために、人形相手に格闘しているようなものです。そして日々、こんなに楽しい時間を過ごせることに感謝せずにはられません。その上、私共の考えにご賛同下さった各界の先生方のご参加を頂いて、より広く知識を得る機会を持つ事ができます。塾生の中からプロの道に進む人が育ってくれるのは何よりも嬉しいことですが、一般の塾生達と新たな喜びの時間を共に過ごせる事を心より楽しみにしております。

文化庁委託事業「平成 29 年度 次世代を担う新進芸術家育成事業」

主催：文化庁、公益財団法人 江戸糸あやつり人形 結城座

制作：公益財団法人 江戸糸あやつり人形 結城座

◎募集概要

◆両コース共通◆

開講期間：平成29年7月3日～平成30年3月

開講日時：毎週 月・水・土曜

月・水曜 19時～21時

土曜 13時～15時、15時～17時（最大）

※ 結城座の公演及び外部講師の都合により、月によって授業数に偏りが生じます。

※ 卒業公演前などに必要に応じて月・水・土曜以外で集中講義を行うことがあります。

場所：結城座（JR武蔵小金井駅 バス10分、西武鉄道小平駅 バス15分）

応募条件：16歳以上

選考方法：書類審査

授業に必要な持ち物・服装

<u>人形実技</u>	動きやすい服装。靴下か足袋で。 ストッキング、スカート不可
<u>能</u>	動きやすい服装、足袋持参。扇はお貸しします。
<u>日本舞踊</u>	浴衣、足袋持参。扇はお貸しします。

◆総合コース◆

<u>授業内容</u> ：	<u>人形実技</u>	90コマ（1コマ=120分）
	<u>特別講義</u>	22コマ（1コマ=120分）
	能	清水寛二 7コマ
	日本舞踊	藤間蘭駒 8コマ
	長唄	今藤政太郎 3コマ
	鳴物	紫竹芳之 2コマ
	人形芝居概要	田中純 2コマ

その他…人形実技の中で、卒業公演、結城座稽古見学、裏方実習などを予定

※ 講師およびコマ数は諸事情により変更されることがあります。

受講料(全日程分)： 一般 120,000円 30歳以下 70,000円

※途中で退塾される場合、受講料の返金は致しかねますので予め御了承下さい。

◆日時選択コース◆

<u>授業内容</u> ：	<u>人形実技</u>	60コマ（1コマ=120分）
	<u>特別講義</u>	選択制（1コマ=120分）

受講料(全日程分)： 一般 80,000円 30歳以下 40,000円

※1.途中で退塾される場合、受講料の返金は致しかねますので予め御了承下さい。

※2.こちらのコースは「履修必須の人形実技 60コマ」・「選択講義の特別講義」を含んだ料金となっております。

◎応募案内

応募方法：

提出書類を一括して下記送付先へお送り下さい。
封筒に「入門塾出願書在中」と朱書して下さい。

[送付先] 〒184-0015 東京都小金井市貫井北町3-18-2
公益財団法人 江戸系あやつり人形 結城座

提出書類は返却いたしません。個人情報を選考以外の目的での使用、
第三者への公開・提供することはありません。

提出書類：

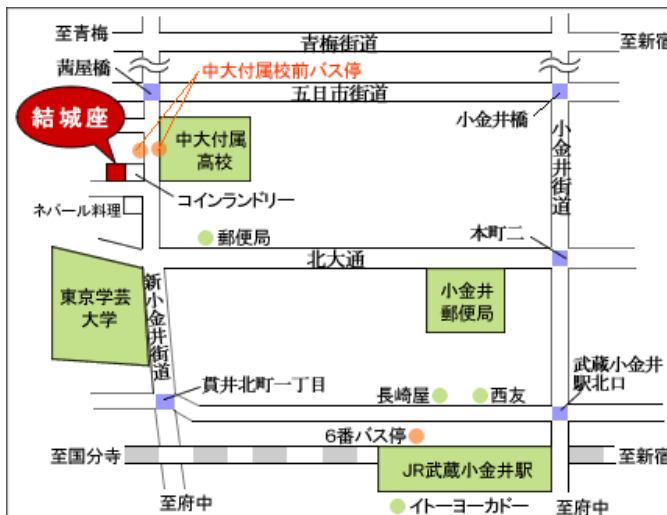
出願書（所定用紙 写真貼付すること） 1通
志望動機（所定用紙 文字数自由） 1通
保護者の同意書（所定用紙 未成年のみ） 1通
身分証明書の写し 1通
※運転免許証／パスポート／住民票／学生証のうちのいずれか

応募受付期間：平成29年6月30日（金）必着

選考結果発表：順次、直接電話で（若しくはご希望の方法で）お知らせ致します。

説明会：6月24日（土）14：00～

於）結城座 1時間程度を予定しております。
個別の相談も受け付けます。参加自由。



◆ JR 中央線 武蔵小金井駅より
北口6番バスのりば
京王バス「中大付属循環」
約10分
中大付属前下車 徒歩1分

◆ 西武新宿線/拝島線 小平駅より
南口バス停
銀河鉄道 小平国分寺線
「国分寺駅入り口」行
中央大学附属中学・高等学校下車
徒歩1分

問い合わせ先：表紙に記載



結城座 プロフィール

江戸時代の寛永12年(1635年)に初代結城孫三郎が旗揚げ以来、現在の十二代目結城孫三郎まで383年の歴史を持ち、国の記録選択無形民俗文化財および東京都の無形文化財にも指定されている日本唯一の伝統ある糸あやつり人形劇団。

「伝統と革新、古典と新作の両輪」を活動指針に掲げ、近年では、特に海外公演や、現代演劇とのコラボレーションによる国際共同制作にも積極的に取り組んでおり、江戸糸あやつり人形の技芸、表現力を追求し、その成果の普及に努めている。新作においては、役者と人形の共演、人形遣いが人形を遣う一方、生身で役者を演じたり、劇中に古典の手法や写し絵等を挿入するなど、独特の舞台空間を創造し続けている。2016年に日越国際協働制作として「野鴨中毒」(作・イブセン、構成・脚本・演出・坂手洋二)を上演。又平成16年より、人形遣い育成事業を様々なかたちで展開。

各講師陣の略歴

◎人形実技

結城孫三郎

江戸糸あやつり人形結城座十代目結城孫三郎(故結城雪斎)の次男。4歳で初舞台。

93年十二代目結城孫三郎を襲名。古典的な糸あやつり人形芝居とともに、新しい作家や演出家との作品作り、海外とのコラボレーションなどにも積極的に取り組んでいる。2004年より入門塾を開講し、古典の伝承と若手の育成にも力を注いでいる。

結城千恵

十代目結城孫三郎の長女。5歳で初舞台。

女性としては初の江戸糸あやつり人形遣いとなる。

結城育子

1975年入座。一時期活動を中断するが、復帰。在籍中は全ての自主公演に参加。



◎長唄

今藤政太郎（人間国宝）

1935年四世藤舎呂船、藤舎せい子の長男として東京日本橋に生まれる。東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業。十世芳村伊四郎 三世今藤長十郎 今藤綾子 山田抄太郎に師事。1962年、東京新聞邦楽コンクール作曲の部で「能楽囃子による組曲」を発表し、文部大臣奨励賞。同時にNHK杯第一位入賞 以後演奏、作曲両活動で受賞多数。1963年、二世今藤政太郎を襲名。1987年以降現在に至るまで計15回、国立劇場主催の邦楽鑑賞会に立三味線として出演。1970年～国立劇場養成課講師として開講以来今に至るまで在任。1997年～NHK邦楽技能者育成会講師として在任、現代邦楽作曲家連盟（副理事長）、長唄協会学校教育邦楽振興委員会委員、長唄「温知会」同人、「創邦21」同人、現在に至る。長唄界に尽くした業績に対し、平成21年度日本芸術院賞を受賞、その他受賞多数。



◎能の発声法と所作

清水寛二

1953年奈良県生まれ。早稲田大学教育学部卒。早稲田大学在学中に山本順之の指導を受け、鏡仙会に入門。故観世寿夫、故八世観世鏡之丞、九世観世鏡之丞に師事。鏡仙会公演などで古典曲の上演を続ける一方、故多田富雄氏作の新作能『一石仙人』『沖縄残月記』『長崎の聖母』などの演出、シテをつとめる。2015年にはアメリカ ニューヨーク・ボストンにて『長崎の聖母』公演を行う。現代劇、ダンスなど他の表現分野との共同舞台や、琉球の組踊、中国の昆劇、インドのクーリヤッタムなど、他の伝統芸能と共同での舞台作りにも取り組んでいる。



◎人形芝居概要

田中純

十二代目孫三郎の実兄。1990年「マクベス（演出 佐藤信）」を最後に「十一代目結城孫三郎の名跡を結城座に返上し、本名 田中純として独自の活動を続ける。



◎日本舞踊

藤間蘭駒

2005 文部科学大臣奨励賞 受賞。

2013 みやこ賞 受賞。

2014 ソウル国際舞踊コンクール Ethnic Traditional Dance 部門 優勝。

東京藝術大学音楽学部邦楽科日本舞踊専攻卒業生



◎鳴物

紫竹芳之

「科白を吹く」…が motto！ 秋田県大仙市(旧・大曲市)出身。尺八を福田輝久、能管を一噌幸政の各師に師事。華道・桂古流桂流免許皆伝「紫竹之翠」の名を持つ。東京都へブレンアーティスト音楽部門のライセンスを保持する。結城座、劇団昴、Pカンパニーなど多くの劇団の音楽、劇伴奏を手がける。レパートリーはお囃子、民謡、演歌から Jazz、童謡、現代曲までと幅広い。



